

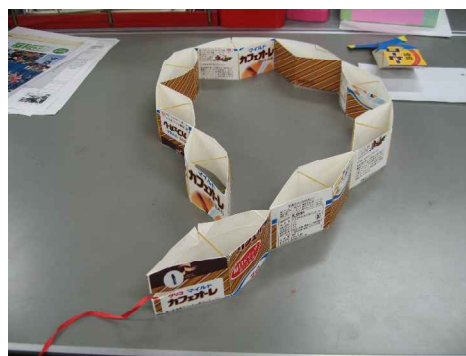
1 素材の紹介



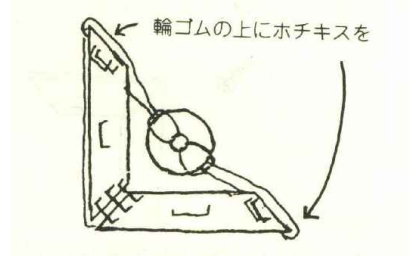
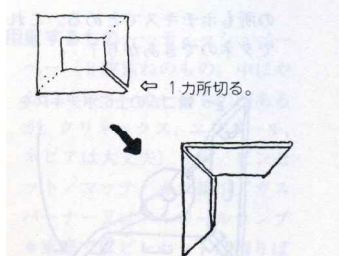
ゴムで動くおもちゃを作るにあたって、教科書に載っていたゴムのおもちゃ以外で探してみました。100円均一のダイソーには、ドラえもんのおもちゃとしてタケコプターみたいなものやヘリコプターみたいなものがありました。（作るのは難しい・・・）

単元が終わった後、教室で飛ばして遊んでいましたが、かなりゴムを巻いていたので2・3日でできてしまい、子どもたちは分解して中身を見ていました。

また、牛乳パックを切って紙の人形をつけてぴよんと跳ばしたり、つなげたびっくり箱(蛇)やサソリの標本も簡単に作れておもしろかったです。



- ① 1L牛乳パックを3等分して、少し切り込みを入れゴムをかけます。
- ② 何個かテープでつなげて折りたたみ、箱（プリッツなど）に入れるとちょうどはまります。思ったより飛び出すので、「びっくり箱だよー」と言いつつ開けさせるとよいと思います。
- ① 牛乳パックを正方形に切り、真ん中で折って穴を開けます。角にゴムをかけて真ん中にリングブル（5円玉）をつけます。ゴムを回して、紙に包むとできあがり。表に「サソリの標本」「カップの手」などと書いておくと、開けたときぱたぱたと音がしてびっくりします。



参考文献 「ものづくりハンドブック」 仮説社

2 関連する学年と単元

3年 「風やゴムのはたらきをしらべよう」